

令和 6 年度

年間授業計画

教科

理科

科目

生物基礎

教科：理科

科目：生物基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：	A組 勝見 毅 B組 勝見 毅 C組 行徳 京子 D組 行徳 京子 E組 行徳 京子 F組 行徳 京子 G組 勝見 毅
使用教科書：	啓林館 1 版 生物基礎

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】	自然の事物・現象について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単 元 1 探究の進め方	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	探究の進め方がわかる。	探究活動の進め方、事例	探究の進め方がわかったか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	2
	課題を発見し、仮説を適切に設定することができる。	教科書	課題を発見し、仮説を適切に設定することができたか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人 1 台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	探究過程を追体験し、自らの周囲の自然に探究活動の課題を採ったか。	Libry	探究過程を追体験し、自らの周囲の自然に探究活動の課題を採ったか。				
	単 元 2 生物の特徴	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	多様な生物の共通点がわかる。細胞のはたらきや体内での化学反応について理解する。	生物の共通性・多様性、細胞、エネルギー	多様な生物の共通点がわかったか。細胞のはたらきや体内での化学反応について理解したか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
	生物の共通点や相違点を考えることができる。	教科書	生物の共通点や相違点を考えることができたか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人 1 台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	多様な生物に関心を持ち、多様さを知ろうとする意欲を持ったか	Libry、動画	多様な生物に関心を持ち、多様さを知ろうとする意欲を持ったか。				
	定期考査（第 1 学期中間考査）/返却と解説						1
	単 元 3 遺伝子とその働き	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	遺伝情報が DNA の塩基配列に由来し、複製や転写・翻訳の過程を理解することができる。	遺伝情報、DNA 複製、遺伝子発現	遺伝情報が DNA の塩基配列に由来し、複製や転写・翻訳の過程を理解することができたか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
	DNA 塩基配列がタンパク質アミノ酸配列に対応することができる。	教科書	DNA 塩基配列がタンパク質アミノ酸配列に対応することができたか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人 1 台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	遺伝情報をゲノムとしてとらえ、最新医療に関心を持ったか。	Libry	遺伝情報をゲノムとしてとらえ、最新医療に関心を持ったか。				
	単 元 4	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人 1 台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第 1 学期期末考査）/返却と解説						1

令和 6 年度

年間授業計画

教科

理科

科目

生物基礎

教科： 理科

科目： 生物基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者：	A組 勝見 毅 B組 勝見 毅 C組 行徳 京子 D組 行徳 京子 E組 行徳 京子 F組 行徳 京子 G組 勝見 毅
使用教科書：	啓林館 1 版 生物基礎

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】	自然の事物・現象について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単 元 4 神経系と内分泌系による調節	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	恒常性が自律神経系やホルモンによることを理解する。	体液、恒常性に関わる神経系・ホルモン	恒常性が自律神経系やホルモンによることを理解したか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	9
	自律神経拮抗的調節やホルモンフィードバック調節を理解し、肝臓や腎臓の働きを考察することができる。	教科書	自律神経拮抗的調節やホルモンフィードバック調節を理解し、肝臓や腎臓の働きを考察することができたか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	体内環境の恒常性に関心を持つことができたか	Libary	体内環境の恒常性に関心を持つことができたか				
	単 元 5 免疫	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説						1
	単 元 5 免疫	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	生体防御には自然免疫と獲得免疫があることと、しくみを理解する。	自然免疫・獲得免疫、応用と病気	生体防御には自然免疫と獲得免疫があることと、しくみを理解したか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	11
	体液性免疫と細胞性免疫について説明できる。	教科書	体液性免疫と細胞性免疫について説明できたか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	感染症に関心を持ち、免疫に関する話題に興味を持ったか	Libary	感染症に関心を持ち、免疫に関する話題に興味を持ったか。				
	単 元 6 免疫	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説						1

令和 6 年度

年間授業計画

教科

理科

科目

生物基礎

教科：理科

科目：生物基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：	A組 勝見 毅 B組 勝見 毅 C組 行徳 京子 D組 行徳 京子 E組 行徳 京子 F組 行徳 京子 G組 勝見 毅
使用教科書：	啓林館 1 版 生物基礎

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】	自然の事物・現象について、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単 元 6 植生と遷移	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	気温と降水量のグラフから各地のバイオームを予想できる。	環境と生物、バイオーム	気温と降水量のグラフから各地のバイオームを予想できたか				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	荒原が草原、森林へと変化してゆく過程には環境要因が関わっていることを考察できる。	教科書	荒原が草原、森林へと変化してゆく過程には環境要因が関わっていることを考察できたか	○	○	○	7
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人 1 台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	世界のバイオームに関心を持ったか。	Libry	世界のバイオームに関心を持ったか。				
	単 元 7 生態系とその保全	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	生物多様性を保全することの重要性がわかる。	生態系、多様性、外来生物、絶滅	生物多様性を保全することの重要性がわかったか				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	生態系のバランスや外来生物の影響について考えることができる。	教科書	生態系のバランスや外来生物の影響について考えることができたか	○	○	○	12
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人 1 台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	生態系に与える人間生活に影響や環境問題に関心を持ったか。	Libry	生態系に与える人間生活に影響や環境問題に関心を持ったか。				
	単 元 8 生物と環境	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・ 指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・ 教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・ 一人 1 台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説						1